

平成25年10月

議会と語り会

平成25年10月22日23日28日実施

町民からの 質問・要望等への 回答 【完全版】



永平寺町議会

お問合せ：議会事務局 TEL 61-3950

「議会と語ろう会」町民からの質問要望への回答

○変わる高齢者対策

問 1：要支援1・2の現利用者は、制度改革で介護保険は適用されないのか。

答：介護保険の保険給付費では介護サービスは全国一律であるが、市町村事業に移行すると、行政府間ではサービスの差がでてくる懸念はある。

問 2：明確な情報を示すべきだが、結果としてデイサービス等の利用減になるのでは。

答：そうなるとの懸念はある。

介護保険制度の維持は限界に達している。国は財政負担を抑えるため、国民の保険料のアップを避けるためには、要支援1・2のサービス低減により実現を図ろうとしているのでは。

問 3：社会保障改革は国が決定するので、従うしかないのでは。

答：国民健康保険料にしても高額にならないように、町の一般財源から3年間補填したことがある。町の政策として、対応できる余地はある。

国から県へ管理が移行し県内一律のサービスになると、今まで町独自のサービス(無料検診や人間ドック受診助成等)ができなくなり、低下する可能性もあり得る。

問 4：70歳になって医療費の自己負担額が3割から1割となった。制度変更になると、年金は下がり自己負担額が増えるのでは？消費税がアップしても社会保障費に活用されるのか疑問だ。議会として請願等を行う考えは。

答：社会保障改革の件は、9月議会の一般質問でも取り上げられた。

今のような介護給付制度では、財政的に維持できない。要支援1・2の介護サービスが町移管となると、サービス低下も予想される。

介護保険や国保では制度変更等が実施されないと、保険料のアップに結び付く。

国保では県内一本化すると、町独自のサービス内容や財政手当(保険料安価維持等)ができなくなると予想される。その反面、財政確保は安定する。

問 5：現況のような諸問題が以前から予想されたが、政治は対処方法を取らなかったのか。

答：社会保障改革は国の財政から見て、保険者も一部負担すべきと思う。

問 6：社会保障改革で、医療窓口負担は2014年から4万5千円が7万4千円に増えるのか。

答：あくまでも国の試算として提示した。現在、国会審議中であり、注目していただくため、テーマとして取り上げた。

問 7：高齢の健常者を大事にする施策、また、予算が少ない。敬老会でも老人を敬う心が欠落している。例えば安い弁当、安いイベント… また、敬老会は3地区存

続を維持してほしい。→**要望**

問 8：認知症早期発見のプランを作成すべき。

答：行政に働きかけをしている。

問 9：「変わる高齢化」として議会が問題提起した理由は。

答：国の考えと現状を地域住民に知らせるため。

問 10：サポーター養成講座必要ではあるが、これからの少子化に向かう時代に合った事を行うべきである。議会は要望しているのか。

答：町では少子化対策をしている。医大の神経科医師を中心にメンタルヘルスをしている。認知症を早期発見するためには、見つける人材が必要。その人材に子どもたちになってもらう。

問 11：メンタルヘルス検診を16ヶ所のサロンで実施しているが、その細部とかのPRはしているのか。

答：サロンからの申し込みにより実施している。

問 12：一次健診で引っかかった場合は、どのように対応するのか。

答：二次検診で今後の対応を判断することになる。

問 13：認知症の早期発見と早期対応について大学病院以外の医師ではできないのか。サロンの要望でなく手軽に検診がうけられないのか。町は専門員の要請予定はないのか。

答：専門医が必要である。研究を専門に行っている医大だからできる。

問 14：一次健診はマニュアル化しているが、5年もかかる検査の対策を考えてほしい。

答：今年初めての事業であり、これからの課題である。

問 15：国保が町から県へ移行する場合、窓口の手続きはどうなるのか。

答：申請手続きや保険料納付などは、これまでどおり市・町で取扱う予定である。

問 16：国保の保険料と医療費の関係は。

答：医療費が増加すれば保険料も増加する。

問 17：制度の助け合いが疑問。国保の収支バランスは。

答：赤字になっているので、一般会計から繰り入れしている。

問 18：資料3 ページ①～⑦の永平寺町の対策は。

答：永平寺町ではこれからである。

問 19：介護保険の要支援1・2をなぜ外すのか。

答：介護保険料がますます高くなるので、要支援1・2については町で対応しようとしている。

問 20：国民健康保険の運営主体が2017年までに都道府県に移行するが、町の負担はどれ位になるのか、負担が大きくなっていくのではないか。あるいは検討がなされているのか。

答：ここには個人の負担分が明記されているので、調べてお知らせする。

問 21：高齢者対策について、空き工場や空き家がどんどん出てくる。それら高齢者対策に使うという発案はないのか。そうすれば数年後は施設が充実するのではな

いか。議員の声を高めて欲しい。

答:実例としては、山鹿で空き家を改装して実施している。ほとんど福祉施設は福祉協議会に委託している。今後の方向性としては社協と役場が連携を取って相談しながら実施していくことは大事なことである。議会としても持ち帰り議論する。

○役場の仕事を深く見る

問 1: コミュニティバスの乗降所だが、高齢者の買い物等の不便さから現状の運行に不満である。乗降所の位置変更の考慮をお願いしたい。

答:ショッピングセンターへの送迎をもっと重要すべきと思うので、行政当局へ提言したい。

問 2: コミュニティバスの運行を、土・日も要望する。

答:吉野コースは平日9便、土曜は4便運行している。また、御陵コース、松岡コースについては、共に土曜日は2便運行している。日曜運行のご要望は、平成26年度にコミュニティバスの運行に関するアンケート調査を予定しており、アンケート結果等をふまえ十分検討したいと考えている。
<行政からの回答>

問 3: 議会の事務事業評価は予算段階でするもので、議会のパフォーマンスでないか。

答:議員個人の意見ではなく、議会全体として次年度の予算に反映させるため思考した。

問 4: 防災無線の音が聞こえない。

答:課題をこしの国ケーブルテレビにも働きかけ要望する。

問 5: 事務事業の 404 項目を提示するべきではないか。

答:各常任委員会で課題を選出し、今回は絞って検討している。

問 6: 納税組合奨励金の増額を。自分たちの努力の報酬であり減少はいかに。他市町でも実施している。

答:納税組合は、納税思想の高揚と町税等の完納を期することを目的とし、町内会単位の町民の皆様で構成していただいている。

納税奨励金は、永平寺町納税奨励規則の規定により、各納税組合の納税成績に応じて交付しており、平成18年の合併時からその交付率の変更は致していない。

他市町の状況は、奨励金の交付率1%以下がほとんどで、年々廃止の傾向にあり、交付している自治体は、本町を含めて7市町となっている。
<行政からの回答>

問 7: コミュニティバスの町内走行路線の検討また、利用者を搭乗し時間待ちはいかに。

答:コミュニティバスの町内走行路線は、年一度の交通会議で決定されているが、地域住民100%の納得は難しいと思う。

問 8: 現在松岡地区防災無線工事をしているが、試運転での放送が全然聞こえない。また、台風等の災害時に聞こえないのでは。戸別受信機の対応を。

答:試験運転時の放送は、役場の親局から各地区の子局へ放送が届いているかどうかを目的としているため、最小限の音量で実施した。平成26年1月から本運用を行っているが、町民の皆様のご意見を聞きながら、音量調整等を行いたい。

また、今後は町のホームページやメールによる配信及びケーブルテレビとの連動に対する整備を行い、情報伝達の多様化を図る予定なので、ご理解をお願いする。

<行政からの回答>

問 9：運用について、指定業者と町は話し合っているのか。

例えば回数券が1枚綴りになっていない。→**町への要望**

問 10：事務事業評価に対する町行政の効果はあるのか。

新しい事業はどのように評価するのか。

答：16事業以外も見ている。全議員が評価し、次年度の予算に対し提案していく。

問 11：「議会と語ろう会」の趣旨は説明の内容が行政説明であり、行政の説明会のように思うが、議会（議員）としてはどうなのか。事務事業評価は誰がするのか。

答：3常任委員会で選出した事業を全議員で行っている。

問 12：行政無線の効果は？有効性については。

答：まだ稼働していないので、有効性についてはこれから検証する。

問 13：事業評価の改善点は。議会独自化。達成率の基準は。

町民の声が届いているのか。

答：町民の声を聞くために、今回説明させてもらった。どんどん意見を出してもらうことで町民の意を反映していきたい。

問 14：花谷はコミュニティバスがあまり走っていないのでは。

答：公共交通（えち鉄）の関係で少ない。

問 15：納税組合の納税率奨励金はどうなっているのか。

答：今もある。95% → 1% 100% → 3%

町全体で納税組合は59組合あり、そのうち20組合が奨励金をもらっている。

個人情報に関係もあり縮小の方向である。

問 16：永平寺町総合振興計画に対する行政の対応はどのようなものなのか。また、議会としてどう関わりあって来たのか。

答：◎行政の対応は・・・

・「永平寺町総合振興計画」の基本構想・基本計画に定めた各施策や事業を展開するため、具体的に示した「永平寺町総合振興計画 実施計画」を策定。「永平寺町総合振興計画 実施計画」は計画期間を3年とし、毎年ローリングし見直している。直近の計画は次のとおり。

「永平寺町総合振興計画 実施計画（平成25年度・26年度・27年度）平成25年2月 永平寺町」（16ページ）

・この「永平寺町総合振興計画 実施計画」を指針とし、毎年の予算編成を行っている。

・予算事業の実施内容について「事務事業評価」を行い、評価は「事務事業評価シート」により行われ、「事務事業評価 シート」の“1. 総合振興計画での位置づけ”で関連を明確にし、評価を行っている。

◎議会での関わりは・・・

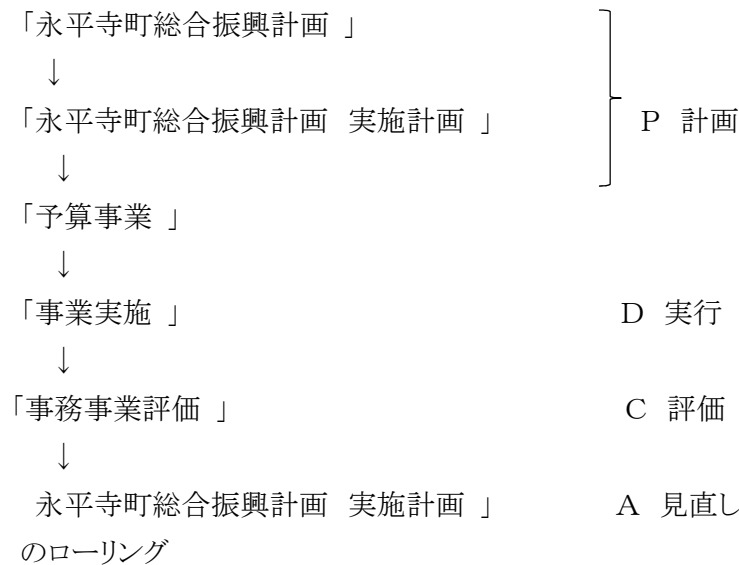
- ・毎年2月の全員協議会に示される上記の「永平寺町総合振興計画実施計画」の審議の中で、「永平寺町総合振興計画」の展開を確認。
- ・議会で行う「事務事業評価」で行政から提出される「事務事業評価シート【議会用】」の“①総合振興計画での位置づけ”で関連を確認。
- ・「永平寺町議会基本条例」の(町長による政策等の形成過程の説明)

第6条 町長は、議会に計画、政策、施策、事業等(以下「政策等」という。)を提案するときは、政策等の水準を高めるため、その都度、次に掲げる項目を説明するよう努めなければならない。

で、(5)総合振興計画等の整合性の項目があり、関連性、整合性を確認する。

問17：今後町づくりにどう活用し、生かしたら良いと思うか。

答：質問1. の“答”の対応を確実に実行することである。



問18：見直しも必要と思うが。

答：平成20年3月、これからの10年のまちづくりの指針として、永平寺町総合振興計画を策定した。本計画では、「うるおい・やすらぎ・人がきらめくまち えいへいじ」をまちの将来像に掲げ、永平寺町の優れた歴史や伝統文化、自然環境、地理的条件を最大限に活かしながら、すべての住民が健康でいきいきと活躍でき、子どもたちがたくましく育つ環境など、本町の魅力を高め、地域の個性を活かした多様性と創造性にあふれた住民本位のまちづくりを進めていくものとしている。この総合振興計画は、平成29年度を目標年次とし、平成20年度から平成29年度までのおおむね10年間を計画期間としている。また、計画を基本構想、基本計画により構成し、計画を実現するために、基本計画に基づき実施計画を策定している。

実施計画は、各施策や事業を展開するため、具体的に示した計画で、毎年の予算編成の指針となるものである。計画期間は3年間とし、中・長期計画との整合性を図りつつ毎年見直し、部分修正を行なっている。

総合振興計画の見直しは、これまでの成果と今後の社会情勢、動向を見極め、検討したいと考えている。

＜行政からの回答＞

問 19：小学校教室エア―搬送ファン設置について、送風機でも換気扇でもない、何の為に付けたかわからない。子どもたちからも先生からも良い評価は無い。無駄なことをしてもらっては困る。議員はどこまで知っているのか。平気で議会を通していているのがおかしい。

答：子ども(中学生)議会の中で、空調設備についての質問があった。結果的に送風ファンは良くなかったが、今、小中学校の空調設備について調査を実施し近い将来には完備していく方向で検討している。

問 20：松岡公園整備について、トイレに関して含翠荘建て替えはできないのか。

答：含翠荘の利用形態等については、今後、松岡公園整備工事と併せて建て替えや取り壊し、耐震化など多方面から検討をしていきたいと考えている。なお、今のところは含翠荘の東側(約100m先)にトイレ施設があるので、そちらを利用していきたい。

＜行政からの回答＞

問 21：地域コミュニティバス事業について、1年間の利用者数を見ると、町民一人当たりにかかる費用が大きい。費用対効果について、議員はどのように理解しているのか。また、もっと見直しすべきところは見直し、効率のある運営をして欲しい。

答：・高齢者や交通弱者の移動手段としては社会的なインフラと位置付けられる。その面では費用対効果のことを言われるが、今後更に充実を図っていく必要がある。効率性については、デマンド方式を採用したり、ルートの見直し・再編・運行時刻の見直し、更には議会でも再三論議されている町内一円を通して巡回する方法等の提案をしていく。
・平成26年度にコミュニティバスの路線や停留所ごとの乗客数等の検証を行うと共に、運行に対するアンケート調査の実施を予定している。これらの調査結果等をふまえ、平成27年度の契約更新時に併せて運行形態の見直しについて検討したいと考えている。 <行政からの回答>

問 22：納税組合奨励金についての考えは。

答：町の考えは、将来的には廃止の方向の考え。議会では残すべきとの意見もあり今回事業評価の対象として抽出した。

問 23：事業評価について、時期遅しの感はあるが、今回からやり始めたことに関しては評価したい。疑問として、24年度事業に対して26年度予算に反映することとしているが、1年遅れはどうして？普通なら25年度事業を評価して26年度に反映するのが一般的と考えるが。

答：前年度予算(24年度)の出納閉鎖が5月。今までは決算認定が12月に行われており、この時点では25年度の予算は執行中であり、12月ともなると翌年度(26年度)の予算編成に取り掛かる。予算決算の仕組み上、評価は1年遅れになる。今年からは出来るだけ早い時点で翌年に備えるために11月(11日)に臨時議会を設定した。

問 24 : コミュニティバスについて…

- ・ 運転手が「空っぽで走っているのがもったいない」と言っている。
- ・ 町内一円巡回は、富山市がやっている。どうして永平寺町ができないのか。
- ・ 合併して何年も経っているのに同じことをやっている。
- ・ 議員として陸運局へ行っては？ 交通対策会議の中に議員も入るべきだ。
- ・ 朝、子どもが5～6人通学で乗ったら後はいない。効率を考えないと。
- ・ 佐藤医院へ行くのに駐車場がない、マルエー跡があるが止まってくれない。永平寺支所があるが前で止まらない、何のためのバスかわからない。

答:住民の足として、特に高齢者や交通弱者の足として必要なもの。中間時間帯に乗っていないことも見ている。効率的に走らせるにはデマンド方式、時間帯の再編も必要。議会として先進地視察等も考え研究したい。

問 25 : 議員定数・報酬について議員の中で議論してきたはず。予算としては関係があるはず。事業評価に抽出しなかったのか。

答:決算額でみると、議員報酬が関係してくるが、今回は評価事業には抽出されなかった。定数・報酬問題は今回で終わりではなく今後も検討課題である。

問 26 : 松岡公園を生かすアイデアを考えて欲しい。パーベキューもできないのでは子どもをつれて行こうという気持ちになれない。松岡は古墳を生かす手があるのでは。

答:福寿園の跡地を含め公園の整備中であり、古墳に至る道路も整備する。古墳を生かした計画としている。その他桜の植樹など、街中の公園としてみんなが憩える公園として考えている。

問 27 : ①防災行政無線について、今年は防災訓練が中止になったが、通常はサイレンが聞こえないところがある。 ②戸別受信機があれば聞きとれるが。

答:①上志比・永平寺地区は合併前から整備されていたが、松岡地区は整備されていなかった。今まさに整備中で平成26年度末には完成予定。

②戸別受信機は、避難所や公共施設には設置するが各家庭には設置しない。

問 28 : 想定外の観測史上最高の雨が降った時、鳴鹿堰堤が支えきれなくなった場合、どれだけの被害があるかというシミュレーションはあるのか。(避難箇所の確認が必要だ)

答:鳴鹿大堰は旧鳴鹿堰堤を改築し、平常時には大堰上流水位を一定の水位に保ち、かんがい用水、水道用水等の安定した取水の確保という役割を有しており、洪水時にはゲート操作により、増加した流水を安全に流下させ、洪水を防御する役割を有している。洪水による鳴鹿大堰が決壊した場合の被害想定シミュレーションはないが、町では九頭竜川や荒川が氾濫した場合の浸水想定区域を示した洪水ハザードマップを作成し、全戸配布や町のホームページに掲載し、日頃から防災意識の向上を図っている。なお、洪水ハザードマップには洪水時の避難場所等を明示しているので、町民の皆様が迅速かつ安全に避難し、洪水による人的被害を軽減するための手段として活

用していただきたいと考えている。

＜行政からの回答＞

問 29：公共交通機関について、平成に来た頃、福井に行くのにバスが1時間に1本しかない。電車は松岡駅まで歩いて行かなければならず、大変不便。これから高齢になって車の運転ができなくなった時が不安だ。

答：町内には、コミュニティバスが走っているが、現状は京福バスが走っている所は通らない。議会でも提言しているが、今後、不便なところは改善し、全町一円廻れるコミュニティバスとして理事者側に言い続ける。

○その他

総務常任委員会関係

問 1：吉野小学校前の道路は車両のスピードが速く、通学児童の通行に危険を感じる。バイパスが完成すると、合流地点では通行量が多くなる。又、スピードオーバー車両が多くなるので、信号機設置等の対策が必要では。

答：一般県道稲津松岡線の信号機設置は、地元地区やPTA 連合会の要望を受け、平成24年6月7日付で永平寺警察署長宛に、平成25年11月29日付で福井警察署長宛に要望書を提出している。信号機の新設は、県内全体で例年100件を超える要望があり、そのうち約1割程度が設置されている状況だが、引き続き設置に向けて要望していく。

＜行政からの回答＞

問 2：永平寺警察署の福井署統合により道路使用願等で、申請手続き等の不便さを感じている。福井市内の交番と同じ位置づけか？（特定交番化）

答：道路使用許可等は、永平寺分庁舎の交通係が窓口で受理し、事務処理は福井警察署で行っていることから、早急に許可が必要な場合や緊急掘削等を行う場合等は、直接福井警察署へ提出していただくことで時間の短縮が図れるのでご理解をいただきたい。また、永平寺分庁舎内には、24時間体制の松岡交番を併設しており、福井警察署管内の交番と同じ位置づけだが、特定交番ではない。

＜行政からの回答＞

問 3：消防署統合で、到着時間の対応が今までと変わらないのか。

答：距離的には遠くなるが、高機能指令台の整備による119番受信で、発信地が自動的に特定できるため、出動時間が短縮でき、当区ではほとんど影響はないと聞いている。

問 4：合併して、松岡地区の大きな行事が減ったのでは。にぎやかにしてほしい。

答：合併したので、どこで(旧町村)祭事を行っても同一町内と理解してほしい。

問 5：町の財政状態は良いのか？ 町の借金は？いくら減額したのか。

答：県内では、良い方である。借金は合併時から56億円の減、また、前倒し償還で金利負担を減らし、合計70億円減少したと聞いている。

問 6：町民に理解しやすい町政の説明を。

答：町民の皆さんに町政を説明する場では、スクリーンやホワイトボード及び模型等で地図、

写真及びグラフ等を活用し、わかりやすくするため視覚的に説明し、表現も専門用語ではなく町民の皆様が普段使われている言葉で説明する等の工夫をしているが、今後もより一層町民の皆様理解しやすい説明に努めたい。 <行政からの回答>

問 7：職員を減らすと町民へのサービスが低下するのでは。

答：イベント等で、町職員に負担をかけない等、町民の協力が必要となる。

問 8：合併協議会の決定事業で、事業計画進捗（旧町村毎）状況は。

答：平成17年度に旧3町村による合併協議会において、合併後のまちづくりの将来像や施策の基本的な方向性の摺り合わせを行い、「新町まちづくり計画」を策定している。平成19年度には、「新町まちづくり計画」の施策を反映した、向う10年間の総合的かつ計画的な行財政運営の指針となる「町総合振興計画」を新たに策定した。この計画は、7項目の基本政策からなり、計画期間中の予算編成や各種事業計画の総合的な指針として役割を担っている。

また、「町総合振興計画」を基に、より具体的な事業を展開するため、別途「実施計画」を定め、毎年見直しを図りながら事業展開をしている。実施計画の進捗状況は、平成24年度までの5年間で、193の事業を計画しているが、すでに180の事業に着手しており、進捗率は93.3%となっている。

今後も、行政の直面する行政課題や計画の事業を着実に実施するため、事業の進捗の確認を行い、目標の達成に向け取り組んでいきたい。 <行政からの回答>

問 9：旧上志比村議会では予算余りの時、地区議員は地区の事業に関与できたが、現在の議員は活動できず、もどかしく見えるが。

答：議員は入札関連の業務に関与すべきではない。

旧上志比村の村政と異なり、事業費の単年度使用の使い切りはしていない。

問 10：地区要望の実施時期の明確な提示をすべきだか。

答：・各地区からも同様の指摘がある。大型の事業では国の補助金の時期が明確にならないと提示できない。事業のランク付けは難しい課題である。

・町が事業主体として対応すべき案件については、関係する担当課が現地の確認や要望内容の詳細・ヒアリングを通して、重要性や事業効果などの観点から十分検討を行っている。また、事業主体が国・県である要望事項は、町として要望の実現に向けた働きかけている。検討の結果、対応可能な要望事項は、関係区長に実施時期等を連絡し、道路の規制等が生じる工事については、事前にチラシ等でお知らせしている。

<行政からの回答>

問 11：消防署統合について、救急車の出動回数から見ても永平寺開発センターは納得がいけない。

答：以前の「議会と語ろう会」でテーマとして町民の意見を聞いた。後日、地区別の出動回数を報告する。

問 12：各種団体への補助金について、活動している団体、していない団体に同様に予算が出されている。（減額についても同様）

答:団体助成金から、事業補助金に変わりつつある。効率性の問題もある。成果主義に応じたものに仕組みを変える必要がある。

問 13: 開発センターの改築について、公民館として使用している部分はどうか。

答:2階の会議室等は開発センター耐震工事並びに消防庁舎新築工事後は公民館講座や各種会議等では使用できなくなることから、その代替機能として永平寺支所の2階の元町長室や元総務課があった場所を公民館講座や各種会議に使用する予定である。

＜行政からの回答＞

問 14: 地区要望の経過とか結果、取り組みについて行政から報告がない。

→**町への要望**

問 15: 町の借金が146億円、国は1千兆円借金を抱えている。町の財政を改善するには住民税を増やす方策を考えないと。議員の発案で人口を増やす方策や、死んだ宅地を住宅にするなど定住促進の方策を考えよ。

答:・人口を増やしていくことでは町長も理解しているが、永平寺町はまだ減り方が少ない方だと言っている。町は西野中や栗住波で実施し、西野中では1坪1万円で土地提供、19区画一坪6万円位で提供し、完売。人口減では上志比地区が著しく、栗住波周辺16戸建て、完売。その分子どもの数も増えている。空き家対策として永平寺町の良い所をアピールしながら来てもらう方策は良い事。議会として今後も提言していく。

・町では、定住促進の主な施策として、若い世代の定住化につなげるため、子ども医療費の無料化、保育サービスの充実、学校給食費の無償化、教育力の向上等を行っており、さらに住宅取得に対して補助を行う等様々な取り組みを実施している。

また、宅地の情報については、不動産業者との連携を図り、町内の不動産情報をお知らせする取り組みや宅地造成等について検討している。　＜行政からの回答＞

問 16: 賃貸住宅でも町から補助があると人口増につながると思う。一戸住宅新築でないと補助が無い。賃貸でも良しとすれば住民税が入るのではないか。

答:定住促進を目的としている補助制度のため、定住につなげることを基本として補助を行っている。賃貸住宅の場合は、学生や転勤等短期間での転入・転出が多いため、住宅の購入に対しての支援制度としている。　＜行政からの回答＞

問 17: 消防が永平寺地区へ移転するという事だが、どのような経過で決定されたのか。

答:平成28年度で東古市に移転する計画。消防の広域化と併せて消防無線のデジタル化問題が浮上してきた。電波の受信系統が中心地区に適しており、経済性も鑑みて中心に位置する東古市に決定された。

問 18: 様々な行事がほとんど永平寺・上志比地区で行われている。松岡地区では肝心なことが何も行われていない。公民館が古い状態だから利用できない事もあると思うが残念。松岡地区には施設をつくる考えはないのか。

答:行政は、織物会館・北電跡地の利活用も考えている。

問 19: 雇用と企業誘致の観点から、「町長と語る会」の時に、若鮎グループに対して、

ある大手のコンビニからオファーがあったと聞いているが、どうなったかの質問に対し、明快な回答が無かった。このような話は雇用・企業誘致の良いチャンスであり、こういった情報にはもっと敏感に反応し、早目の対応が必要ではないのか。

【※質問事項の補足として、若鮎グループ加工部 中野 静枝氏より聞き取り】

『今から10年ほど前に「日通」より葉っぱ寿司のことで問い合わせがあり、イトーヨーカドーなどで販売をしないかと言われたが、数も半端でないため若鮎グループだけでは対応ができない。日持ちのしない葉っぱ寿司だけに数もアブラギリの葉っぱの確保も難しいのでお断りをした。』

しかし、永平寺町の伝承料理の葉っぱ寿司をなんとか特産品として売り込みたいが、小規模グループでは限界もあるので、他のグループも一つにまとまってできないか。そのためには、ひとつになって作れる場所や数を作るための人員確保が必要になる。若い人の雇用ができないか。』ということを昨年10月の志比北地区振興連絡協議会の町長と語る会において質問したとの事。

答:葉っぱ寿司を特産品化するための場所や人の確保については、町内で葉っぱ寿司に取り組んでいる複数の企業やグループが連携し、一つの企業体として自ら体制をつくっていくことが大変重要だと考えている。一つの産業として目的を持った取り組みに対しては、県など関係機関と十分協議検討の上、町としても支援していきたい。

また、アブラギリの葉の冷凍保存の研究をはじめ、新商品の開発、需要の拡大、PRといった分野につきましても、農山村に受け継がれた資源を活用した販路拡大ということも考えながら、今後も永平寺農商工ブランド発信協議会において十分協議検討し、支援していきたい。

＜行政からの回答＞

問 20 : 定住促進について、御陵は市街化調整区域になっているが、人気があり土地価格も高い。場所が無いと人も来られない。御陵で造成できる場所はあるのか。

答:何とかして手放したい人がいるようだが、市街化調整区域という法のしぼりがあり現時点では宅地化は図れない。

問 21 : 町の財政について、借金の返済は順調にしているのか。

答:合併時 200 億余の借金は、いま 146 億円にまで減っている。行政改革の取り組みで、人件費の抑制、経常経費の抑制・事務事業の見直し、公債費の抑制、歳入の確保等で23億4千2百万円余の効果を生み出している。

(町政懇談会で示されている行革の資料を提供する。)

教育民生常任委員会関係

問 1：給食費を無償化したのが、財源の心配はないのか。財源根拠は。

答：中期財政計画で、当面は心配ないとの町当局の見解である。

問 2：ホタルの里では、最近ホタルの減少があるのでは。原因としてナイターの使用では。ナイター利用者は誰か。

答：ナイター利用者はわからないが、一般利用は町外が多い。

問 3：他の市町と比較して給食費の無償化、中学生までの医療費の無料化等、当町は住みやすいと感じるが。

答：成果として、人口減少率は県内2番目に低い。

問 4：給食費の無償化を一時にしたのは早計では？半額を実施するとの方法があったのでは。孫の代に借金を残すのでは。

答：議会では実施に当たり、付帯決議をした。

中期財政計画の中では大丈夫との説明があったが、長期的には不安も残る。

子育てしやすい町をつくるといった政策で、判断は正しいと思う。

問 5：禅の里温泉の建設に関して反対議員の抵抗が激しく、規模が小さくなったと聞いた。来館者も町外の人も多くお金が町内に落ち、働く場もできたのでは。夏季では、鮎つり客の多さが目立った。冬のスキーシーズンでも大勢の利用が期待できるのでは。

答：入場者数の目標は6万6千人だが、9万人を超えそうな勢い。又、道の駅もできるので相乗効果が期待できる。

問 6：子育て支援は他市町と比べて進んでいると思う。認知症は増えていくことが想定できるが、在宅介護に対する援助方針は。

答：子育て支援や特定健診等、サービス水準は良いと思う。

給食費無償化は中学生まで適用しているが、郡内に高校は無く、大学は県外へ、働く場所もない。今後は企業誘致が必要と思う。中学生までの医療費の無料化、インフルエンザ予防対策で一部費用の援助等子育て支援の町づくりは進んでいる。

問 7：禅の里の風呂場、水風呂に入るとこぼれた水が温泉風呂に入る。設計ミスではないのか。

答：予算上の問題もあると思うが、改善できないか行政に伝える。

問 8：福井国体で永平寺町での競技があるが、浄法寺キャンプ場のバンガローを使用してはどうか。→町へ提案

問 9：質問：温泉の送迎について。

答：送迎は町内のみで行われている。委託会社のバスも(6名以上)町内で実施(協定書に明記)。

問 10：国体の3競技は町が誘致したのか。そのために多額の事業費がかかるのではないか。また、選手の受け入れ体制はできているのか。また経済効果は見込まれるのか。

答:町が誘致し、課題がある。

問 11 : 松岡公民館の改修について。

答:公共施設(現存の施設)のあり方について議会で協議中。

問 12 : 公民館の使用料について、公民館講座の無料が有料になるのでは。

答:公民館講座での使用料については確認し、お知らせする。

問 13 : 勝山市では、独居老人等の除雪は自主防災組織に除雪機を 100%補助して実施してもらっている。永平寺町でもやってほしい。→**町への要望**

問 14 : 松岡図書館について、30度を越えないとエアコンをつけてくれない。町の条例で決まっているのか。併せて湿度の高いときなどは中にいられない。

答:図書館の温度のことは、行政に確認をとる。暑かったら付けることでお願いする。

問 15 : 中央公民館(駅前)は、これからの若い世代の為に何とかして欲しい。公民館は必ず必要なもので、隣接者(タカラ写真館)に理解を求めることも必要。地下を駐車場にして上は2階建てを提言する。

答:提言として聞かせていただく。

問 16 : 文化祭を1箇所ですることになったが、緑の村には高齢者が行けない。乗せてもらっていく現状。高齢者の作品が出ていない。搬入搬出ができない。町としてどんな考え方でいるのか。

答:議会としても様々な議論があったが、一回やって見て評判が悪かったら元に戻すという約束はしてある。町民の声として聞き、強く行政に提言していく。

サンサンホールを使えば良いけれど、他の施設も平等に使うよう言っている。

コミュニティバスが廻れるよう提言をしている(京福バス通っている)

シャトルバスについて問い合わせる。

問 17 : 志比北小学校問題について、学校が無いと地域が益々さびれていく。個人的には残してほしいが、総論では統廃合も致し方ないかなと思う。生徒数40人も山鹿や飯島から来てもらっての人数。町の借金も多い。→**意見**

問 18 : 学校があるから、そこに集まってきて地域としての活動ができる。ということでは学校は残すべき。一方で、若者たちは子どもの多い市・町へ出て行くようになった。仕事が無いから帰って来られない。施策が必要だ。→**意見**

問 19 : 学区制をはずし、スクールバスを取り入れる方向で考えるべき。若い者がどう考えているかアンケートを取ってみてはどうか。栃原80件、若者世帯は20件、子どもは残っていない、運動会は午前中で終わってしまう。集団の中で人間は成長していく。土地はいくら持ってもだめ。子どもを残していかないとだめだ。

→**意見**

問 20 : かつて、ゆとり学級と言われた時期があった。複式学級は悪いとは思わない。上級生が下級生の面倒を見erというような特性を生かした教育は良いと思う。

→**意見**

問 21 : ①町の活性化について、最近の御像祭りは活気が無いと感じている。御像祭り

に対して町は補助をしているのか。

②永平寺町の名を売り込むためのイベントが少ない。マレットゴルフの全国大会を誘致する等は良いと思うが考えを聞きたい。

③昔の御像祭りは相撲あり、盆踊りありで活気があった。以前のように小学校のグラウンドで有名なタレントを呼ぶなどできないか。

答:①町の助成としては、松平昌勝公顕彰会があり、そこへ約50万円助成。

どうすれば昔のあの賑わいが戻るのか。松岡中学校を卒業した者たちが27日、28日に故郷に帰ってきて何かやれたら良いが。

②松岡河川公園はマレットゴルフの公認コースになっており、全国大会も開催している。

③今、情勢としては大人が余裕を失っているようだ。景気も悪いこともあり、祭りは心の余裕で遊ぶ感じだから。しかし、やる気の問題で何とかと思って一般質問でも取り上げている。基本的には、町任せではだめで民間の方に頑張ってもらうことだ。

問 22 : 町立図書館について、学園都市にふさわしい駐車場の広い立派な図書館が欲しい。今の図書館は駐車場が大変せまい。図書館に行こうというわくわく感が湧いてこない。御陵に図書館ができるかなと期待していた。

答:現状は、松岡・永平寺・上志比に3つの図書館がある。それぞれ課題が残されている。この話は提言として聞く。

問 23 : ショッピング等は福井へ行った方が色々あって良い。松岡は違う視点で松岡だからできるようなものを。自然がとても良い。高齢者ばかり抱え込むのは大変かもしれないが、若い人たちが出ていくのであればしかたがない。病人は病院へ行き、在宅介護者の不安を解消する為の大きな介護型施設をつくり、また、他市町からも来てもらえるような施策を考えて欲しい。

答:提言として聞く。

問 24 : 借金して温泉も建てた。現時点で入館者が多くても将来的に維持していかないと駄目だ。民間はサービスしたって金儲けしないと駄目。今調子が良いと言っているでもそれを何十年と続けてもらわないと駄目。スキーシーズンに誘客できるようなアピールをしているのか。

答:指定管理者のコーワと町が一体となって努力していく。今後、議会の中でそういった意見を反映していき、議会は事業評価の中で厳しくチェックし監視していく。

【その他の質問】

- ・敬老会を中止したのに、なぜ復活したのか？税金の無駄使いでは。
- ・子ども議会の質問の事項は。

産業建設常任委員会関係

問 1：荒川の改修工事整備計画の促進を要望する。

川床の高低差がないので流れが悪く、田地に逆流している。山からの下流が合流点で田地へ逆流することが予想されるが、対策は。

答：中部縦貫道路の工事が終了次第と思うが、県に対し働きかけたい。

問 2：当地区ではイノシシが多く、タケノコが食べられないほどだ。町の駆除対策は？狩猟（鉄砲使用）で駆除すべきだ。

答：町内ではネットや電気柵で防御策をしている。嶺南地方では、フェンス柵対策がみられる。

問 3：冬期間に路上駐車があり、除雪に困っている。条例等で解決して欲しい。路上駐車を取り締まりができないか。除雪した後に路上に捨てている人もいる。

答：困っている状況は理解できる。路上駐車違反・道路への投雪等で事故が生じた時、当事者が刑事事件者となり得る。損害賠償の責務が生じるといった広報活動を町当局に要請する。

問 4：河川公園の管理を町外の業者に決定したのは疑問に思う。シルバーにさせても良いのでは。会員の仕事は減り、700万円の減収となった。

答：委託管理は、契約期間終了時には町条例で入札して契約締結すべきとある。

法の下、資格要件があれば誰でも入札できる。公募して提案内容や入札金で、審査委員会にて公平に決定された。差金も少額であり、提案内容は決定者が勝っていたのではないか。

シルバーは公益法人であり、一般の民間業者と区別しても良いとの意見もあった。

問 5：道の駅はできるのか。

答：県の事業として決定された。場所は永平寺温泉「禅の里」の隣。町の施設案内の看板が「禅の里温泉」のものも含め、少なく感じている。今後、調査して対処したい。

問 6：近くを走る国道の融雪がしていないため、冬期間の車の事故が多い。住宅の無い所はしないそうだが、特に西村砂利前の坂とカーブまで融雪ができないか。

答：国道であり冬期間は坂、カーブがあるため確約は出来ないが行政に要請する。

問 7：永平寺中地区はスーパーも無く他の地区に比べ発展していない。

問 8：浅見地区で機能補償道路設計の当初計画と完成構造が違う。

答：住民と話し合いをして進めるよう行政に要請する。

問 9：観光の町のアピールが足りない。永平寺参拝道の車椅子対応は。

福井駅からの直通の永平寺行きバスの時間が9時50分と10時2分で、8時台はなく、10時近くまでバスがない。お年寄り旅行者はホテルで早く起きて待っている。

答：観光客の対応については行政に要請する。

問 10：今のトンネルが将来どうなるのか。

答：過去に2～3本の越坂トンネルの話があった。当分の間は1本で供用する。

問 11：機能補償道路の予算は終了か。

答：道路が完成したので終了。

問 12：機能補償道路についてだが、横断歩道に照明がない。

答：道路ができたばかりなので、議会としても町を通じて県に要望していく。確認して回答する。

問 13：機能補償道路の花谷地係には、融雪が絶対に必要だと思う。冬季に必ず事故が多発してしまう。→ 町への要望

問 14：えちぜん鉄道の問題で松岡駅に駐車場を作ってほしい。織物会館の跡地を駐車場にしてはどうか。

答：織物会館は壊して松岡ルーツ館(仮称)という歴史を拠点としたような町おこしの建物を建てたいと行政は言っている。従って駐車場も結構できると思う。駅周辺にも空き地があり、行政にも働きかけている。

問 15：九頭竜フェスティバルと御像祭りの間が1週間しかない。接近しているという批判があったが。

答：議会の中でも議論された問題で、今後は調整が必要だと思っている。

議会関係

問 1：議員を減らすべきでは。合併協議会では？全体的にみて18名はどうか。

答：県内の各町の人口からの議員数は、平均値から見て18名でも多くはない。平均値から見れば24名でも可ともくみ取れる。余りにも少なくすると、行政との馴れ合いやマイナス要因が生じる。

合併時の議員定数42名から現在18名となっているので、合併協議会の決定からは外れていない。

合併後8年経過したが町民の同一感が育っていない。仮に2名減らしても報酬では700万減で財政への貢献少で、現数が妥当であると考ええる。

問 2：政府及び議員（町議含む）は、自己犠牲することなく国民に負担させるのか。

→意見

問 3：議員を減らすといったのに実行しない理由は。

答：県内に8の町議会がある。人口平均から見ると多くはない。定数が減少すると町民の声が町政に届けにくくなるほか、行政との馴れ合いも予想される。

旧行政区(市町村)間、歴史、文化、事情等の相互理解が進まないと現状ではマイナス要因である。議会の議決は数の論理だ。上志比から議員が2名とすると、禅の里温泉はできなかつたと思う。

問 4：議員活動において今後とも町全体を眺めて、過疎にならないように地域間での相互発展を期待する。→提言

問 5：議員定数の現状維持に不審に思う。第3者会議で決定すべきではないか。

答：議会で語ろう会でも意見をいただきながら論議して決定した。

問 6：議会と語ろう会やその他の場所で町民の意見をよく聞いてもらい、議員の質を上げ、議員の定数は減らして報酬はそれなりに上げればよい。

- ・報酬は安いと言って出席率を下げては困る。
- ・地区から出なくても町内全部をまとめることで、定員は減らしても活動はしっかりしてもらいたい。

答：様々な意見がある。

- ・朝から夕方までは自分の仕事をして、夜間議会があればそんなに報酬を貰わなくても。
- ・選挙にお金をかけている者がいる。金を使わない選挙も必要。住民の理解も必要だ。

問 7：地区の議員がその地域を担当する形で、中心となってしっかりとした議会活動をしていって欲しい。→提言